

令和7年度用『高校生の美術1』教科書 訂正のお願い

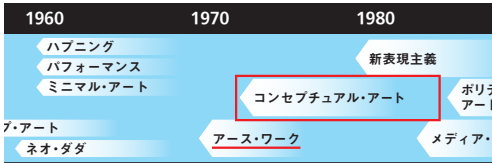
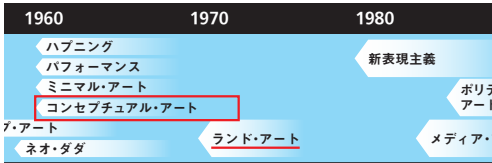
令和7年に供給いたしました教科書に、以下の訂正がございます。生徒の皆様、先生方にご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。訂正を施した教科書は、令和8年度より供給させていただきます。

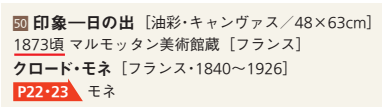
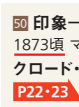
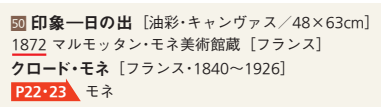
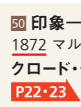
先生方におかれましては、訂正内容をご確認のうえご指導いただきますよう、謹んでお願い申し上げます。

日本文教出版株式会社

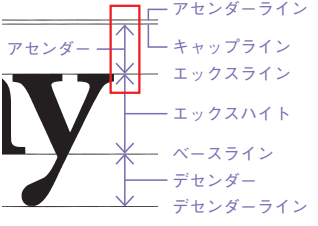
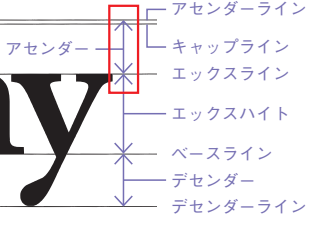
ページ・行	原 文	訂 正 文	理 由
19ページ 上段左	猿をつれた自画像 [油彩・板／40.6×30.4cm] 1938 <u>オルブライト＝ノックス・アート・ギャラリー</u> 蔵 [アメリカ] <u>フリーダ・カーロ</u> [メキシコ・1907～54]	猿をつれた自画像 [油彩・板／40.6×30.4cm] 1938 <u>バッファローAKG美術館</u> 蔵 [アメリカ] <u>フリーダ・カーロ</u> [メキシコ・1907～54]	美術館の名称が変更になったため
25ページ 上段左	アルルカンのカーニバル [油彩・キャンヴァス／ 66×93cm] 1924～25 <u>オルブライト＝ノックス・ アート・ギャラリー</u> 蔵 [アメリカ] ジョアン・ミロ [スペイン・1893～1983]	アルルカンのカーニバル [油彩・キャンヴァス／ 66×93cm] 1924～25 <u>バッファローAKG美術館</u> 蔵 [アメリカ] ジョアン・ミロ [スペイン・1893～1983] 作家がかつて見たヘビやネコ、	
54ページ 中段右	キリストの洗礼 [テンペラ・板／ 180×152cm] 1472～73頃 ウフィツィ美術館蔵 [イタリア] <u>アンドレア・ヴェロッキオ</u> [イタリア・1435～88]	キリストの洗礼 [テンペラ・板／ 180×152cm] 1472～73頃 ウフィツィ美術館蔵 [イタリア] <u>アンドレア・デル・ヴェロッキオ</u> [イタリア・1435～88]	正式名称に修正するため
103ページ 上段右	④ グデア像 [閃緑岩／高さ62cm] 紀元前2144～42頃 ルーヴル美術館蔵	④ グデア像 [閃緑岩／高さ62cm] 紀元前2144～前42頃 ルーヴル美術館蔵	より正確な表記にするため
103ページ 上段右	⑤ ツタンカーメン王のマスク [金・貴石／高さ54cm] 紀元前14世紀 <u>カイロ美術館</u> 蔵 [エジプト]	⑤ ツタンカーメン王のマスク [金・貴石／高さ54cm] 紀元前14世紀 <u>大エジプト博物館</u> 蔵 [エジプト]	美術館の名称が変更になったため
103ページ 下段右	⑨ アクロポリスの少女 [彩色・大理石／高さ115cm] 紀元前520頃 アクロポリス美術館蔵 [ギリシャ]	⑨ アクロポリスの少女 [彩色・大理石／高さ115cm] 紀元前520頃 アクロポリス博物館蔵 [ギリシャ]	一般的な表記に合わせるため

ページ・行	原 文	訂 正 文	理 由
105ページ 下段左	前三〇〇頃 シユメール人がメソポタミアに定住	前三〇〇頃 シユメール人がメソポタミアで都市国家を形成	美術史年表と美術史本文の表記統一のため
105ページ 下段中央	五三八頃 ●百濟から仏教伝来	五三八(五五二)頃 ●百濟から仏教伝来	弊社発行の高校美術教科書間で記述を統一するため
105ページ 中央			弊社発行の高校美術教科書間で記述を統一するため
106ページ 下段中央	女官たち 1656 ディエゴ・ベラスケス	ラス・メニーナス(女官たち) 1656 ディエゴ・ベラスケス	弊社発行の高校美術教科書間で記述を統一するため
106 ページ 下段右	 たち 1656 :ゴ・ベラスケス No.14／カフェ・チェア 1859 ミハエル・トーネット 	 メニーナス(女官たち) 1656 :ゴ・ベラスケス No.14／コンシューマー・チェア 1855～59頃 ミハエル・トーネット 	弊社発行の高校美術教科書間で記述および画像を統一するため

ページ・行	原 文	訂 正 文	理 由
123ページ 上段中央	 ■ No.14 / カフェ・チェア [木材・藤 / 86×41×52cm] 1859 ミヒャエル・トーネット [オーストリア・1796～1871]	 ■ No.14 / コンシューマー・チェア [木材・藤 / 92.6×42×47cm] 1855～59頃 ヴィトラ・デザイン・ ミュージアム蔵 [ドイツ] ミヒャエル・トーネット [オーストリア・1796～1871]	弊社発行の高校美術教科書間で記述および画像を統一するため
106ページ 下段左	一四〇頃 ブルネレスキ 線遠近法を開発	一四〇頃 ブルネレスキ 線遠近法を発見	より正確な表記にするため
107ページ 下段中央	一九二四 ブルトン「シュルレアリスム宣言」を公表 削除	一九二四 ブルトン「シュルレアリスム宣言」を公表	弊社発行の高校美術教科書間で記述を統一するため
108ページ 中央			弊社発行の高校美術教科書間で記述を統一するため

ページ・行	原 文	訂 正 文	理 由
107ページ 中段左	印象一日の出 1873頃 クロード・モネ	印象一日の出 1872 クロード・モネ	弊社発行の 高校美術教 科書間で記 述を統一す るため
111ページ 下段中央	  印象一日の出 [油彩・キャンヴァス／48×63cm] 1873頃 マルモッタン美術館蔵 [フランス] クロード・モネ [フランス・1840～1926] P22・23 モネ	  印象一日の出 [油彩・キャンヴァス／48×63cm] 1872 マルモッタン・モネ美術館蔵 [フランス] クロード・モネ [フランス・1840～1926] P22・23 モネ	
107ページ 下段中央	 アデーレ・ブロッホ・ パウアーの肖像 1907 グスタフ・クリムト サクラランプ キクランプ 1900頃 エミール・ガレ	 アデーレ・ブロッホ・ パウアーの肖像 1907 グスタフ・クリムト サクラランプ キクランプ 1900頃 エミール・ガレ	トリミングが されていたた め、トリミン グなしの画像 に差し替える ため
112ページ 下段中央	 ひくヘラクレス ス／250×240×90cm] 1909 ※美術館蔵 フーヌ・ブールデル ス・1861～1929]   アデーレ・ブロッホ・パウアーの肖像 [油彩・銀箔・金箔・キャンヴァス／138×138cm] 1907 ノイエ・ガレリエ蔵 [アメリカ] グスタフ・クリムト [オーストリア・1862～1918]	 ひくヘラクレス ス／250×240×90cm] 1909 ※美術館蔵 フーヌ・ブールデル ス・1861～1929]   アデーレ・ブロッホ・パウアーの肖像 [油彩・銀箔・金箔・キャンヴァス／138×138cm] 1907 ノイエ・ガレリエ蔵 [アメリカ] グスタフ・クリムト [オーストリア・1862～1918]	
108ページ 下段右	二〇二五 二〇二四 二〇二二 ●日本国際博覧会（通称「二〇二五年大阪万博」）開催予定 パリオリビック・ハラリビック開催 ●東京オリビック・ハラリビック開催	二〇二五 二〇二四 二〇二二 ●日本国際博覧会（通称「二〇二五年大阪・関西万博」）開催 パリオリビック・ハラリビック開催 ●東京オリビック・ハラリビック開催	正式名称に 変更するた め

ページ・行	原 文	訂 正 文	理 由
109ページ 中央	絵画では、<u>ジョット・ディ・ボンドーネ</u>が明暗による肉付けで立体感を備えた人体と人物の感情を三次元的な空間に表した。<u>ジョット</u>の表現は<u>マザッチオ</u>に受け継がれ、ルネサンス絵画の様式が確立された。その後<u>フラ・アンジェリコ</u>は透視図法を巧みに取り入れた空間の中に人物を配し、清らかな宗教絵画を表現した。サンドロ・ボッティチェリは、ギリシャ、ローマ神話の世界をテーマに、流れるような線と柔らかな色彩で甘美に表した。彫刻では<u>ドナテッロ</u>が古代彫刻に学び、自然な姿の人体表現で多くの作品にその成果を实らせた。	絵画では、ルネサンスの先駆者<u>ジョット・ディ・ボンドーネ</u>が明暗による肉付けで立体感を備えた人体と人物の感情を三次元的な空間に表した。<u>その</u>表現は<u>マザッチオ</u>に受け継がれ、ルネサンス絵画の様式が確立された。その後<u>フラ・アンジェリコ</u>は透視図法を巧みに取り入れた空間の中に人物を配し、清らかな宗教絵画を表現した。サンドロ・ボッティチェリは、ギリシャ、ローマ神話の世界をテーマに、流れるような線と柔らかな色彩で甘美に表した。彫刻では<u>ドナテッロ</u>が古代彫刻に学び、自然な姿の人体表現で多くの作品にその成果を实らせた。	より正確な表現にするため
109ページ 下段左	建築は、抽象的な神の尺度を求められたゴシック建築に対し人間の尺度を基準とし、調和と構成的な形体美を求めた。13世紀末に着工された<u>サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂</u>は、15世紀<u>前半</u>に八角形の巨大なドームを建造して完成した。	建築は、抽象的な神の尺度を求められたゴシック建築に対し人間の尺度を基準とし、調和と構成的な形体美を求めた。13世紀末に着工された<u>サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂</u>は、15世紀<u>前半</u>に八角形の巨大なドームを建造して完成した。	より正確な表記にするため
110ページ 上段右	ヨーロッパ北方では、15世紀にフランドル(現在のベルギーを中心とする地域)の<u>ヤン・ファン・エイク</u>が<u>油彩画法</u>を研究し、写実的で緻密な絵を描いた。油絵の技法は	ヨーロッパ北方では、15世紀にフランドル(現在のベルギーを中心とする地域)の<u>ヤン・ファン・エイク</u>が<u>油彩技法</u>を研究し、写実的で緻密な絵を描いた。油絵の技法は	より正確な表現にするため
111ページ 下段中央	50 印象一日の出 [油彩・キャンヴァス／48×63cm] 1873頃 マルモッタン美術館蔵 [フランス] クロード・モネ [フランス・1840～1926] P22・23 モネ	50 印象一日の出 [油彩・キャンヴァス／48×63cm] 1872 マルモッタン・モネ美術館蔵 [フランス] クロード・モネ [フランス・1840～1926] P22・23 モネ	表記統一のため
112ページ 中段右	快な色調と大胆な筆触で表現した。形を単純化し鮮やかな色を平塗りして対象を構成する表現を打ち立てたポール・ゴーギャンは、1891年にタヒチ島に渡り、<u>島の原始的な生活</u>を題材に数多くの傑作を残した。また、<u>アンリ・</u>	快な色調と大胆な筆触で表現した。形を単純化し鮮やかな色を平塗りして対象を構成する表現を打ち立てたポール・ゴーギャンは、1891年にタヒチ島に渡り、<u>島の現地の生活</u>を題材に数多くの傑作を残した。また、<u>アンリ・ド・</u>	より適切な表現にするため
114ページ 中段左	76 雲の牧人 [石膏／320×123×220cm] 1953 バリ国立近代美術館蔵 ジャン・アルプ [フランス・1887～1966]	76 雲の牧人 [石膏／320×123×220cm] 1953 バリ国立近代美術館蔵 ジャン・アルプ [フランス・1886～1966]	より一般的に記載されている生年に合わせるため
116ページ 下段左	8 弥勒菩薩半跏思惟像(国宝) [漆箔・赤松／高さ123.3cm] 7世紀前半 広隆寺蔵 [京都府]	8 弥勒菩薩半跏思惟像(国宝) [漆箔・赤松・楠／高さ123.3cm] 7世紀前半 広隆寺蔵 [京都府]	弊社発行の高校美術教科書間で記述を統一するため
116ページ 下段右	飛鳥、奈良時代の寺院の伽藍配置は様々であるが、いずれも中国や朝鮮の影響を受けている。<u>現存する</u>世界最古の木造建築である<u>法隆寺</u>の中門、回廊と金堂、五重塔などの配置もそのひとつである。仏像には、<u>法隆寺の釈</u> <u>削除</u>	飛鳥、奈良時代の寺院の伽藍配置は様々であるが、いずれも中国や朝鮮の影響を受けている。世界最古の木造建築である<u>法隆寺</u>の<u>創建当時の</u>中門、回廊と金堂、五重塔などの配置もそのひとつである。仏像には、<u>法隆寺の</u>	より適切な記述にするため

ページ・行	原 文	訂 正 文	理 由
117ページ 上段左	白鳳時代に描かれた絵画では阿弥陀浄土図 観音菩薩の表情や描き方に、インドのアジャンターの壁画との共通性が認められる。 建築は、前時代の重厚さに比べ、優美で均整のとれたものになった。雄大さを求めた天平時代の気風は、唐招提寺金堂のおおらかで、堂々とした姿にも表れている。	白鳳文化で描かれた絵画では阿弥陀浄土図 観音菩薩の表情や描き方に、インドのアジャンターの壁画との共通性が認められる。 建築は、前時代の重厚さに比べ、優美で均整のとれたものになった。雄大さを求めた天平文化の気風は、唐招提寺金堂のおおらかで、堂々とした姿にも表れている。	見出しと本文の記述を統一するため
117ページ 上段左	誕生し描かれた。12世紀には源氏物語絵巻や伴大納言絵巻、信貴山縁起絵巻、鳥獣人物戯画巻や地獄草紙など、宮廷の物語や寺社の起こり、浄土教の教えなどを描いた絵巻物が盛んにつくられた。	誕生し描かれた。12世紀には源氏物語絵巻や伴大納言絵巻、信貴山縁起絵巻、鳥獣人物戯画や地獄草紙など、宮廷の物語や寺社の起こり、浄土教の教えなどを描いた絵巻物が盛んにつくられた。	弊社発行の高校美術教科書間で記述を統一するため
117ページ 下段中央	20 平治物語 絵巻 三条殿夜討巻(部分) [紙本着色／縦41.3cm] 13世紀後半 ボストン美術館蔵[アメリカ] P29～31・43 絵巻	20 平治物語 絵巻 三条殿夜討巻(部分) [紙本着色／縦41.3cm] 13世紀後半 ボストン美術館蔵[アメリカ] P29～31・43 絵巻	誤記
119ページ 上段左	戦乱の世が統一に進む過程で、富と権力を得た戦国大名などのもと、新たに大規模な建築や創造的な美術作品の制作が盛んになった。白鷺城の別名をもつ優美な外観	戦乱の世が統一に進む過程で、富と権力を得た戦国大名などのもと、新たに大規模な建築や独創的な美術作品の制作が盛んになった。白鷺城の別名をもつ優美な外観	より適切な表現にするため
119ページ 中段左	成させた。利休が完成し広めた侘茶では、飾り気のない茶碗が喜ばれ、楽焼や志野焼などの新しい陶器が焼かれた。茶室は簡素でひっそりとした佇まいのものがつくられた。利休の設計とされる待庵は、茶席が二畳という狭	成させた。利休が完成し広めた侘茶では、飾り気のない茶碗が喜ばれ、楽焼や志野焼などの新しい陶器が生まれた。茶室は簡素でひっそりとした佇まいのものがつくられた。利休の設計とされる待庵は、茶席が二畳という狭	より適切な表現にするため
126ページ 下段左			画像が左右反転していたため
149ページ 下段中央			誤記